

令和8年度ユースチャレンジ！コラボプロジェクト採択事業検討会 審議結果

事業1

事業名	ゴミ拾いクイズバトル バトラッシュ ―Battle×Trash―
提案団体名	竹親連合会
種別	自由提案型
審査結果	採択
＜事務執行上の注意＞ ● 本事業で作成する広報物には「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度）令和8年度採択事業」と記載してください。	

事業2

事業名	プロジェクトダイノハラの挑戦 ～台原森林公園を舞台にした親子・地域参加型イベント～
提案団体名	プロジェクトダイノハラ
種別	自由提案型
審査結果	採択
<附帯意見> ● 本事業においては、単に賑わいを求めてイベント回数を増やすのではなく、地域との対話や交流を行う時間を確保することが重要です。いつ、何に取り組むのか、具体的な事業スケジュールをすみやかに組んでください。 ● 台原森林公園付近には、旭ヶ丘市民センター、台原市民センター、仙台市科学館など、地域情報が集まる施設が所在しています。これらの施設との連携は本事業の効果的な実施に資するものと考えますので、関係構築の進め方について検討してください。 ● 本事業の実施にあたっては、実際の地域課題やニーズを踏まえながら進めることが必要です。話を聞く、アンケートを行うなど、地域にお住まいの方の声を把握する手法について検討してください。 <事務執行上の注意> ● 本事業で作成する広報物には「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度）令和8年度採択事業」と記載してください。	

事業3

事業名	たっここプロジェクト
提案団体名	ながまちマチキチューズサポーターズ
種別	自由提案型
審査結果	不採択
＜附帯意見＞ 検討会において下記のとおり意見がありましたので、今後の参考としてください。 ● 本提案は、これまでの活動の成果を踏まえ、地域の愛着形成につながるイベントを考案した点が評価されました。 ● 一方で、「たっここ社会科見学」については、既に小学校の授業で実施されている地域学習との差別化を図るなどの新規性が求められたところです。 ● また、「たっここ市」への来場者数の伸び悩みに向けた対策としては、出店数を増やすための費用を団体が負担するのではなく、イベント内容そのものの魅力アップに向けた工夫をすることが重要です。 ● 貴団体のノウハウや経験を活かしながら、引き続き活動に取り組まれていくことを期待します。	

事業4

事業名	長町ブランド可視化と回遊創出による関係人口形成プロジェクト
提案団体名	尚絅学院大学 人文社会学類 渡邊ゼミ
種別	自由提案型
審査結果	採択
＜附帯意見＞ ● 本事業で制作する長町グルメマップ「ながめし」は紙媒体であり、掲載できる情報には限りがあります。マップを見た人がより幅広い情報を得られるよう、お店のSNSやウェブサイトの二次元コード掲載など、紙面とインターネット上の情報を連動させる工夫を行ってください。 ● 制作したグルメマップがより多くの人の目に触れるよう、配架先について協働課とともに検討してください。 ＜事務執行上の注意＞ ● 本事業で作成する広報物には「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度）令和8年度採択事業」と記載してください。	

事業5

事業名	体操教室&ヒーローショー事業 ～親子で楽しくメタボ予防～
提案団体名	NAGAMAX PROJECT
種別	自由提案型
審査結果	採択
<附帯意見> ● 本事業の実施にあたっては、団体の代表者が地域おこし協力隊を務める強みを活かし、地域住民を巻き込む工夫を行ってください。 <事務執行上の注意> ● 本事業で作成する広報物には「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度）令和8年度採択事業」と記載してください。	

事業6

事業名	親子で踊ってつながる仙台 在留外国人交流コミュニティ
提案団体名	杜の舞プロジェクト
種別	自由提案型
審査結果	不採択
＜附帯意見＞ 検討会において下記のとおり意見がありましたので、今後の参考としてください。 ● 本提案は、日本文化の体験を通して在留外国人と地域との関係構築を促進しようとする着眼点が評価されました。 ● 一方で、団体において地域との関係構築ができておらず、事業効果や実現性、持続性・発展性の観点から課題が残ると判断されました。まずは、一緒に取り組める仲間を仙台で増やすことが必要です。 ● また、提案のあったような、仙台七夕まつりなど大規模イベントに併せた文化体験プログラムの実施が、在留外国人の参加につながるかは疑問です。留学生の支援者や語学学校など、実際に在留外国人と接している人や組織ともにスモールスタートさせることが、交流を深める観点からは有効と考えます。 ● 貴団体のノウハウや経験を活かしながら、引き続き活動に取り組まれていくことを期待します。	

事業7

事業名	仙台超文化祭
提案団体名	仙台学生ラボ
種別	自由提案型
審査結果	不採択
<附帯意見> 検討会において下記のとおり意見がありましたので、今後の参考としてください。 ● 本提案は、学生が主体的に企画や運営を担おうとする姿勢に加え、クラウドファンディングや企業協賛金の獲得に向けた取り組み等も意欲的に検討している点が評価されました。 ● 一方で、テントなどの物品購入費については詳細に予算計上していながら、花火の打ち上げに関しては予算が計上されておらず、打ち上げに要する許認可についても確認がなされていなかったため、実現性に懸念があると判断されました。 ● また、花火の打ち上げ会場として市沿岸部の荒浜地区が想定されていましたが、東日本大震災の被災地であることから、「学生の手作りの文化祭」というコンセプトに合致するかどうかという観点からの検討が求められたところです。 ● 貴団体のノウハウや経験を活かしながら、引き続き活動に取り組まれていくことを期待します。	

事業8

事業名	びあミーティング
提案団体名	びあミーティング
種別	自由提案型
審査結果	採択
＜附帯意見＞ ● 本事業では団体のメンバーと同世代の若者からの相談が想定されていますが、一般的に、若者が自分の健康面について見知らぬ若者へ相談することはハードルが高いと思われますので、相談しやすい場となるよう工夫してください。 ＜事務執行上の注意＞ ● 本事業で作成する広報物には「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度）令和8年度採択事業」と記載してください。	

事業9

事業名	マチツカイ創出プロジェクト ー公共空間を活用した若者実践育成事業ー
提案団体名	マチツカイ
種別	自由提案型
審査結果	不採択
<附帯意見> 検討会において下記のとおり意見がありましたので、今後の参考としてください。 ● 本提案においては、若者が公共空間に「使い手」として関わるという新たな概念を生み出し、それらの若者の支援を行うというアイデアが評価されました。 ● 一方で、「若者が街を使う」ことが地域の活性化や担い手不足の解消にどのようにつながるかの想定がなく、ユースチャレンジ！コラボプロジェクト実施要綱 第3条に記載されている「市内の地域課題の解決や魅力の向上に取り組むもの」という条件を十分に満たしていないと判断されたところです。 ● 貴団体のノウハウや経験を活かしながら、引き続き活動に取り組まれていくことを期待します。	

事業 10

事業名	『学校おとまり大冒険 in 作並』 ～学校まるごと貸切!ワクワクが止まらない夏を大学生と一緒に～
提案団体名	Re : school
種別	自由提案型
審査結果	不採択
<附帯意見> 検討会において下記のとおり意見がありましたので、今後の参考としてください。 ● 本提案においては、これまでに関わってきた子どもたちの声やニーズを丁寧に拾い上げ、新たなイベントの考案につなげたことが評価されました。 ● 一方で、提案のあった学校への宿泊体験は、PTA などの手により既にさまざまな学校で実施されており、新規性の観点から課題があると判断されました。採択に向けては、地域との関係構築や新たな価値の創造という観点から、さらなる検討が求められたところです。 ● なお、宿泊事業においては食事のアレルギー対策が求められるほか、空調の効かない廃校における暑さ対策や、山林地区であることを踏まえたクマ対策など、種々の対策が必要となるため、学生団体が実施するにはリスクが高いと考えます。 ● 貴団体のノウハウや経験を活かしながら、引き続き活動に取り組まれていくことを期待します。	

事業 11

事業名	杜の都でネイチャーポジティブの「本」質に出会う
提案団体名	NP ラボ
種別	テーマ設定型「知ろう！伝えよう！ネイチャーポジティブ」
審査結果	採択
<附帯意見> ● ネイチャーポジティブという概念を広め、さまざまな人々による実践につなげていくためには、イベント参加者の主体性を引き出すことが重要です。選書の段階から参加者を巻き込む、本を読んだ感想を共有する機会を設けるといった、参加者がより主体的にイベントに関われるような工夫を行ってください。 ● 本事業が円滑に進むよう、開催場所の選定を早期に行ってください。 <事務執行上の注意> ● 本事業で作成する広報物には「仙台市ユースチャレンジ！コラボプロジェクト（若者版・市民協働事業提案制度）令和8年度採択事業」と記載してください。	

事業 12

事業名	こどもカフェ
提案団体名	学生団体 Brush
種別	自由提案型
審査結果	不採択
＜附帯意見＞ 検討会において下記のとおり意見がありましたので、今後の参考としてください。 ● 本提案は、こどもカフェ及びこどもの居場所の運営経験や、これまで構築してきた地域とのつながりを踏まえ、新たな取り組みを考案したことが評価されました。 ● 一方で、持続可能なこども食堂の事業モデルを確立するという目的に対し、「こどもカフェ」を手伝うこどもだけがご褒美としてご飯を食べられるという仕組みが、本来こども食堂に求められる機能との整合が取れていないと判断されました。採択に向けては、こども食堂とは別のものとして事業内容を整理するとともに、カフェを手伝うこどもたちの成長や、地域との接点づくりに力点を置いた提案が求められたところです。 ● 貴団体のノウハウや経験を活かしながら、引き続き活動に取り組まれていくことを期待します。	